



国立妙高青少年自然の家 開所30周年記念誌
光と風のキセキ

発行 / 令和3年12月

発行者 / 独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立妙高青少年自然の家

〒949-2235 新潟県妙高市大字関山6323-2

TEL: 0255-82-4321 FAX: 0255-82-4325

印刷 / 株式会社 桐朋

30th
Anniversary

国立妙高青少年自然の家
開所30周年記念誌

光と風のキセキ



独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立妙高青少年自然の家

目次

沿革	3
ごあいさつ	
開所 30 周年を迎えて 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立妙高青少年自然の家所長	4
開所 30 周年を迎えて 独立行政法人国立青少年教育振興機構理事長	5
祝辞	
祝辞 文部科学省総合教育政策局長	6
祝辞 開所 30 周年に寄せて 新潟県知事	7
開所 30 周年を祝して 新潟県教育委員会教育長	8
祝辞 妙高市長	9
教育事業の変遷（平成 24 年度～令和 3 年度）	10
年度別教育事業一覧（平成 3 年度～平成 23 年度）	14
歴代運営委員等名簿	16
歴代職員名簿	18
開所以来の宿泊・日帰り利用者数の推移	20
30 周年を迎えるにあたりご寄附をいただいた皆様	21
活動マップ	22

国立妙高青少年自然の家のシンボルマーク



国立妙高青少年自然の家の所章のシンボルは、MYOKOの「M」の小文字「m」をベースに、左から妙高山（2,454m）、火打山（2,462m）、そして焼山（2,400m）の三つの山を表し、子供たちが伸び伸びと力強く育つことを願ったものです。

マスコット



原画



現在

妙高の地を代表する野生動物である「野うさぎ」をマスコットにしました。自然の家の施設周辺では、四季を通して見かけることができます。

原画の制作者は山本宏一さん（東京芸術大学卒 元明治製菓デザイン室長 当時ヤマ・アートランド代表）です。

mimiちゃん、mimiくんは平成6年に名前を全国に募集して、157点の応募の中から「mimi」に決定しました。

沿革

昭和54年12月	国立第14少年自然の家を妙高村に設置することが決定
平成 2年10月 1日	国立妙高少年自然の家（仮称）設立準備室設置
平成 3年 4月12日	国立妙高少年自然の家機関設置
12月 1日	事業開始
平成 4年10月12日	開所式 挙行
平成 6年11月	スパルホール（天体観測棟）完成
平成 7年10月 1日	坪岳ハイキングコース開設
11月20日	第2野外炊飯棟完成
平成 9年11月25日	仲間づくりの森環境整備完成（プロジェクトアドベンチャー、フィールドアスレチック）
平成13年 4月 1日	独立行政法人国立少年自然の家 国立妙高少年自然の家に移行
7月13日	利用者延べ 100 万人達成
11月 8日	開所 10 周年記念式典挙行
平成18年 4月 1日	独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立妙高青少年自然の家に移行
平成20年 2月15日	国立大学法人上越教育大学と連携・協力に関する協定を締結
平成20年10月31日	妙高市と連携・協力に関する協定を締結
平成21年10月30日	利用者延べ 200 万人達成
平成23年 3月24日	東日本大震災の被災者受入れを開始
平成23年10月10日	開所 20 周年記念式典挙行
平成27年 5月12日	新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部と包括連携協定を締結
平成30年 8月 1日	利用者延べ 300 万人達成
令和 2年 2月28日	新型コロナウイルス感染への対応に関する文部科学省からの要請により5月20日まで利用団体の受入休止
令和 3年12月 4日	開所 30 周年記念式典挙行

開所30周年を迎えて

独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立妙高青少年自然の家 所長

小林 朋広



おかげさまで、国立妙高青少年自然の家は開所30周年を迎えることができました。全国最後となる14番目の国立少年自然の家として平成3年に開所されて以来、今年度11月末現在で延べ320万人を超える方々に御活用いただいております。これもひとえに、地元の新潟県、妙高市をはじめ、近隣の都道府県や市町村、関係機関の皆様のご多大なる御支援と御協力、そして文部科学省の御指導のおかげと深く感謝しております。

当施設は、妙高戸隠連山国立公園内の雄大で美しい妙高山麓に設置され、四季折々の自然の美しさや特徴を感じ取り、動植物、川、森林、地形、光、星、雪など妙高山のもつ自然の恵みを活かしながら、事業や活動を展開して参りました。その中で、長年職員が受け継ぎ大切にしてきたことがあります。

一つ目は地域や関係機関の皆様との強固な連携です。誘致の始まりから、当施設には地域の皆様から大きな期待が寄せられてきました。開所後30年間、事業への協力、施設や活動場所の整備、害獣・害虫などの対応、各種体験活動での直接的な指導など、地域の皆様からいただいた御支援は計り知れません。また、県内の大学生や各種団体の皆様からもボランティアとして、活動支援や活動場所の開発整備や看板設置などで、御協力いただきました。地域や関係機関の皆様と築いてきた密接なつながりは、当施設の財産です。

二つ目はその時代その時代の課題に対応した教育事業や活動プログラムの開発です。学習指導要領の趣旨を踏まえた学習や体験活動の提供、不登校や中1ギャップ、生活改善などの子供たちが抱える課題の解決をめざす教育活動、自立や社会性育成を目指すダイナミックな長期キャンプ、幼児期からの自然体験の推進など、歴代所員が課題を明確にもち、新たな教育活動に挑戦し、成果を発信し、注目され、認めていただいたことも財産です。

コロナ禍による交流や体験の不足、少子高齢化や地域コミュニティの変化による人間関係の希薄化、課題を抱える青少年の増加、貧困による教育格差、災害や事故の増加など、子供たちをとりまく教育環境の悪化は否めません。今こそ、青少年の健やかな成長と自立のために、長年培ってきた地域とのつながりと目の前にいる青少年や利用者のニーズを踏まえた新たな発想を大切に、時代の課題を克服できる質の高い教育活動や場の提供が必要です。

この30周年の節目の年に、30年の歩みを振り返り、支えてくださった多くの皆様に感謝するとともに、国立施設として最後に設置された言わば集大成の施設という皆様の期待を受け止めながら、誇りをもって青少年教育の拠点としての役割を果たす所存でございます。今後とも皆様の一層の御指導と御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

開所30周年を迎えて

独立行政法人国立青少年教育振興機構
理事長

古川 和



国立妙高青少年自然の家は、我が国28番目の国立青少年教育施設として平成3年4月に設置され、この度、30周年を迎えることとなりました。この間、300万人以上の方々に御活用いただきましたのも、ひとえに地元新潟県や妙高市、近隣の自治体をはじめ、関係の方々や地域の諸機関、また、多くの学校、青少年関係団体など、皆様からの深い御理解と変わらぬ御支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

当機構が有する全国28の教育施設は、それぞれの立地条件を活かした特色ある活動を展開しておりますが、ここ国立妙高青少年自然の家においては、妙高山を望む雄大な自然環境を活かしながら四季折々の活動プログラムを提供するとともに、特色あるプログラムとして、課題を抱えた子供も対象とした2週間の長期キャンプなどに取り組んできました。また、NPO団体や地域の方々を対象とした指導者養成研修にも力を入れ、自然体験活動の指導者として活躍できる人材の育成や資質向上にも取り組んできました。

さて、「VUCA（ブーカ）時代」と呼ばれる現代は、テクノロジーの進化によって、あらゆるものを取り巻く環境が複雑さを増し、将来の予測が困難な状況にあります。VUCAとは、V（Volatility：変動性）、U（Uncertainty：不確実性）、C（Complexity：複雑性）、A（Ambiguity：曖昧性）の頭文字をとった造語です。

このVUCA時代において、青少年を取り巻く環境は大きく変化しております。コミュニケーションのとり方や他者との交流のあり方が変わり、人工知能によって社会の価値観も大きく変容しつつあります。さらには、コロナ禍が追い打ちとなり、青少年は今、様々な不安やストレスにさらされています。

このような現状を打破するために、自然や仲間と触れ合うリアルな体験がますます重要になっていると思います。今こそ、青少年教育の力が必要です。これまでの伝統を大事にしながらも、時代の変化に応じて変革していきたいと思います。そして、学校や関係機関・団体等との連携をこれまで以上に促進するとともに、機構全体が一丸となって未来を担う青少年の健全育成に取り組んで参ります。

最後に、今日まで国立妙高青少年自然の家を御支援いただいております地元関係者の皆様をはじめ、全国の関係者の皆様に心から感謝を申し上げますとともに、引き続き、国立妙高青少年自然の家及び国立青少年教育振興機構の取組に御協力、御支援を賜りますようお願い申し上げます。

祝辞

祝辞

文部科学省
総合教育政策局長
藤原 章夫



国立妙高青少年自然の家が開所 30 周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

国立妙高青少年自然の家は、四季折々に変化する豊かな自然環境に恵まれた妙高山麓において、青少年が体験活動や集団宿泊生活を通じて情操や社会性を育み、心身を鍛錬し、もって健全な少年の育成を図ることを目的に、平成 3 年 4 月、国立で最後の青少年教育施設として設置されました。

以来、妙高の自然環境を生かした青少年への体験活動を中心に、青少年教育指導者やボランティア等の育成に力を入れてこられました。特に、妙高市内の全小学校 6 年生を対象とした中 1 ギャップ解消事業、いじめ・不登校・発達障害など課題を抱えた子供も対象とした長期インクルーシブ・キャンプ、全国的にも珍しい小学生を対象とした雪上キャンプなどのプログラムを開発するとともに、そのプログラムなどを新潟県内外に広げ、平成 30 年には、延べ利用者数 300 万人を達成するなど、青少年に多様な学びの場を提供してきました。

さて、我が国は、人生 100 年時代や Society5.0、また、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響を受け、社会が大きく変革してきています。文部科学省では、全ての子供たちの可能性を引き出すために、GIGA スクール構想による「デジタルならではの学び」と、子供同士の学び合いや地域社会での多様な体験活動等による「リアルな体験を通じた学び」を車の両輪として推進し、令和の日本型学校教育の実現に向けて、取り組んでいるところです。

国立妙高青少年自然の家においても、創設から 30 年にわたり蓄積されたノウハウとネットワークをフル活用し、「リアルな体験を通じた学び」の開発・実施を充実させ、地域の青少年教育の中核としての役割を果たしていただくことにより、これまで以上に地域から信頼される施設となることを期待しております。

結びに、これまで自然の家に対し多大な御支援をいただきました地元新潟県、妙高市及び近隣市町村の関係者の皆様、さらには施設運営に御尽力いただきました自然の家の歴代所長と職員の皆様に感謝申し上げますとともに、関係者の皆様の御健勝と、国立妙高青少年自然の家の今後ますますの御発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。

祝辞 開所 30 周年に寄せて

新潟県知事
花角 英世



国立妙高青少年自然の家が、この度開所 30 周年を迎えられましたことに、心からお祝い申し上げます。

平成 3 年に、県内唯一の国立青少年教育施設、全国 14 番目の国立青少年自然の家として開所してから今日に至るまで、妙高高原の雄大な自然の中で、心豊かでたくましい青少年の育成に大きく貢献してこられました。その成果は、本県青少年教育の振興に大きく寄与するものであり、関係の皆様のお尽力に対し、深く敬意を表するとともに厚くお礼申し上げます。

近年、人口減少社会の進展に伴う就学・就業構造の変化、技術革新やグローバル化に伴う産業構造や社会システムの変化、家庭の経済状況による格差の固定化など、教育を取り巻く社会環境は大きく変化しております。こうした大きな社会変化や、これまでの教育施策を踏まえ、本県は「県民一人一人が学び成長し活躍できる新潟」を将来像として「将来の夢や希望をはぐくみかなえる教育の推進」に取り組んでおります。

本来、子どもたちは、様々な生活体験や自然・社会体験等を積み重ねる中で、生活の知恵や人間関係づくり、さらには人としての生き方を学んでいくものであり、子どもたちの成長の過程において、野外活動や集団宿泊訓練などの場が極めて重要であります。そのため、本県では県立青少年教育施設における体験機会の提供や指導者の養成などを通して、県内の体験活動の拡充を図っております。

国立妙高青少年自然の家におかれましても、30 年にわたって時代ごとの社会的課題や青少年の実態を捉えた事業を展開し、学習指導要領に即した活動プログラムの開発や貧困、不登校等の課題に対応したプログラムの提供等、多くの実績を上げてこられました。今後も、青少年教育の中核施設としての役割を果たすとともに、「体験の風をおこそう」運動を一層推進されますことを大いに期待しております。

終わりに、国立妙高青少年自然の家のますますの御発展を祈念いたしまして、祝辞といたします。

開所30周年を祝して

新潟県教育委員会
教育長

稲荷 善之



国立妙高青少年自然の家の開所 30 周年を心よりお祝い申し上げます。

上越の名峰妙高山の広大な裾野に立地する青少年自然の家は、日本海、野尻湖、善光寺平に近接した恵まれた自然環境の中で、仲間と宿泊生活をしながら、四季に応じた自然体験や野外活動を行い、豊かな心とたくましい体を育てることを目的に、平成 3 年に設立され、以来、利用者が延べ 320 万人を超えるなど北信越地区の体験学習の拠点的な施設としてその役割を果たしてこられました。開所以来今日までの運営を支えてこられた職員をはじめとする関係各位の御尽力に深く敬意を表します。

さて、昨今は新型コロナウイルス感染症の影響や各地で頻発する災害など、今までの常識では計ることのできない事態が生じております。また、少子化や地域コミュニティの希薄化、家庭や地域社会の教育力の低下など子どもを取り巻く環境が変化し、いじめや不登校、子どもの貧困等、様々な課題が存在しています。

新潟県教育委員会といたしましては、県教育振興基本計画の基本方針「一人一人の個性や能力を伸ばす教育の推進」の中で、児童生徒に豊かな心、倫理観、規範意識などをはぐくむため、体験活動の充実に取り組むこととしております。これらを受け、青少年教育施設等において、本県の豊かな自然を活用した自然体験活動や奉仕活動、異年齢集団による活動・交流等多様な活動プログラムの提供に努めているところです。

国立妙高青少年自然の家におかれましては、引き続き、県内の青少年教育施設の先導役として、時代のニーズに即した新たなプログラムを提供されますことを期待するとともに、体験活動の意義や効果を県内外に周知し、体験活動の裾野を広げ、青少年の健やかな成長と自立に向けて御尽力いただきますようお願い申し上げます。

終わりに、国立妙高青少年自然の家のますますの御発展を祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。

祝辞

妙高市長

入村 明



本日、ここに独立行政法人国立妙高青少年自然の家が、開所 30 周年を迎えられましたことに、妙高市民を代表して心からお慶びを申し上げます。

これまで長きにわたり素晴らしい実績を積み重ねてこられたことは、歴代の所長様をはじめ、所員の皆様の献身と努力の積み重ねがあつてこそ成し得たものであり、皆様のご尽力に深く敬意を表するとともに、心より感謝を申し上げる次第であります。

さて、貴施設は、妙高山麓の広大な土地と豊かな自然を青少年の健全育成のために活用して欲しいという地域の強い願いから、国策による少年の教育施設の設置に向け誘致が始まりました。当時の妙高村議会の皆様や、この土地の入会権をもつ関山共有地管理組合の皆様と協議を重ね、新潟県、上越地方振興促進協議会、上越地域の各市町村、そして、地元選出の国会議員各位や県議員各位の深いご理解とご支援により、平成 3 年 4 月に全国で 14 番目の国立少年自然の家として設置されました。多くの皆様方の並々ならぬご努力に対して、当時を思い改めて謝意を示したいと存じます。

貴施設では設置以来、妙高の豊かな自然を活用した数々の魅力あるオリジナル教育活動プログラムを開発され、地元妙高市を始め、全国の小・中学生の学習に活用されています。その中でも、平成 20 年度よりスタートした市内全ての小学 6 年生を対象とした 1 週間にわたる長期宿泊体験活動「フレンドスクール」は、小学校から中学校へ進学した際の中 1 ギャップの解消や社会性の育成などの効果も検証され、全国的にも注目を集めました。

また、地域の方から自然体験活動の指導者、施設整備のボランティアとしてご協力をいただき、充実した自然体験活動を展開されてきました。平成 30 年には、利用者延べ 300 万人を達成されています。

さらに、平成 23 年 3 月の東日本大震災の際には、「東北地方太平洋沖地震における避難者の受け入れに関する協定」に基づき、妙高市に避難された福島県民の皆さんを受け入れていただきました。誠心誠意ご支援いただきましたことに、心より感謝申し上げます。

近年は、人口減少や少子高齢化、グローバル化、IT化など社会情勢が目まぐるしく変化し、社会の価値観も大きく変容しつつあります。また、人と人とのつながりや自然との関わりは希薄化しています。こうした中で、子どもたちが社会的に自立し、自分の人生を自分らしく生きるためには、先般、内閣府より「SDGs 未来都市」に選定された妙高市で、子どもたちが自然の大きさや美しさ、不思議さなどに直接触れ、真の「生きる力」を育むことができる貴施設での体験活動等は非常に重要な役割を担っていると考えています。

結びに、開所 30 年という節目を契機とした、更なる充実・発展を祈念し、祝意とさせていただきます。

教育事業の変遷 (平成24年度～平成28年度)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
教育事業				豊かな実践活動・体験活動推進フォーラム	
	アセアン加盟国 中学生招聘交流事業			日独青少年指導者セミナー	体験活動安全管理研修 ～雪編～
		学社共同参画セミナーⅠ		学社共同参画セミナーⅠ	
		学社共同参画セミナーⅡ		学社共同参画セミナーⅡ	
	MYOKO 活動プログラム体験会				
		妙高アドベンチャープログラム指導者養成研修		妙高アドベンチャープログラム指導者養成研修	
		妙高アドベンチャープログラムスキルアップ研修		妙高アドベンチャープログラムスキルアップ研修	
		妙高ネイチャープログラム指導者養成研修		妙高ネイチャープログラム指導者養成研修	
			妙高ネイチャープログラムスキルアップ研修	妙高ネイチャープログラムスキルアップ研修	
		自然体験活動指導者養成研修試行事業		自然体験活動指導者 (NEAL リーダー) 養成研修兼「MYOKO ボランティア養成研修」	
			自然体験活動上級指導者養成試行事業	自然体験活動指導者 (NEAL リーダー) 養成研修兼「MYOKO ボランティアステップアップ研修」	
		MYOKO ボランティア養成所			
			教員免許状更新講習	教員免許状更新講習	
	はじめてのわんぱくキャンプ				
	幼児期にふさわしい自然体験活動プログラムの開発		幼児キャンプ	幼児キャンプ	
		福島こどもカプロジェクト ふみだす探検隊 in 妙高			
		大地の秘密探検隊			
		YES, I CAN! IN 信濃川		MYOKO チャレンジ	
				妙高のクリスマススイーツ・クラフトに挑戦	
妙高ひまわりキャンプ			生活・自立支援キャンプ	生活・自立支援キャンプ	
体験の風をおこそう運動		感謝祭		感謝祭	
		つながろう はね馬キャンプ in 妙高		つながろう はね馬キャンプ in 妙高	
			つながろう はね馬キャンプ in 新潟	つながろう はね馬キャンプ in 新潟	つながろう はね馬キャンプ in 高柳
			つながろう はね馬キャンプ in 胎内	つながろう はね馬キャンプ in 越前浜	つながろう はね馬キャンプ in 胎内
	防災学習キャンプ				
		妙高山麓ライン滑降スキー大会		妙高山麓ライン滑降スキー大会	
					親子で体験スノーミュージック・フェスティバル in 妙高
					妙高オープンデー 集まれ! スノーキッズ「雪の妙高で思いっきり遊ぼう」



平成24年度 はじめてのわんぱくキャンプ



平成25年度 つながろうはね馬キャンプ in 妙高



平成26年度 大地の秘密探検隊



平成27年度 妙高山麓ライン滑降スキー大会



平成28年度 教員免許状更新講習

教育事業の変遷 (平成 29 年度～令和 3 年度)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
教育事業	豊かな実践活動・体験活動推進フォーラム				全国青少年体験活動推進フォーラム
	幼稚園教育要領・保育所保育指針等解説シンポジウム				
	日独青少年指導者セミナー				
		学社共同参画セミナーⅠ		(令和2年度は中止)	
		学社共同参画セミナーⅡ		学社共同参画セミナーⅡ	
			妙高自然体験活動指導者養成研修兼体験会	(令和2年度は中止)	指導者養成研修 夏・体験会
			妙高自然体験活動スキルアップ研修	妙高自然体験活動合同スキルアップ研修	妙高自然体験活動合同スキルアップ研修
			妙高自然体験活動指導者養成研修 (冬)		指導者養成研修 冬・体験会
	妙高アドベンチャープログラム 指導者養成研修・体験会				妙高アドベンチャープログラム指導者講習会
	妙高アドベンチャープログラム スキルアップ研修				
	妙高ネイチャープログラム 幼児の自然体験活動指導者養成研修				
	妙高ネイチャープログラム スキルアップ研修	妙高ネイチャープログラム スキルアップ研修 (冬季)			
	自然体験活動指導者 (NEAL リーダー) 養成研修兼「MYOKO ボランティア養成研修」	自然体験活動指導者 (NEAL リーダー) 養成研修		自然体験活動指導者 (NEAL リーダー) 養成研修	
		自然体験活動上級指導者 (NEAL インストラクター) 養成研修			
		MYOKO ボランティアキャンプ		(令和2年度は中止)	MYOKO ボランティアキャンプ
		妙高ボランティア育成プロジェクト		妙高ボランティア育成プロジェクト	
	妙高ユニバーサルプロジェクト				
		教員免許状更新講習		教員免許状更新講習	
	子どもの体験活動担い手育成講座 おとなのワクワク探検隊				防災・減災教育 in MYOKO
		幼児キャンプ		(令和2年度は中止)	キッズアドベンチャー
	MYOKO チャレンジ		(令和2年度は中止)	チャレンジキャンプ 2021	
		全国高校生体験活動顕彰制度	「地域探究プログラム」(令和2年度は中止)		
	生活・自立支援キャンプ		生活・自立支援キャンプ		
体験の風をおこそう運動	感謝祭		オープンデー		感謝祭
	つながろう はね馬キャンプ in 妙高				つながろう はね馬キャンプ in 妙高
	つながろう はね馬キャンプ in 高柳				
	つながろう はね馬キャンプ in 胎内		つながろう はね馬キャンプ in アグリパーク	つながろう はね馬キャンプ in アグリパーク	
			親子トレラン教室	親子トレラン教室	
			親子で Xmas ケーキ作り	親子で Xmas ケーキ作り	
				信越トレイルキャンプ	
				トキ鉄で GO !	
	妙高山麓ライン滑降スキー大会				
		親子で体験! 森のプログラム体験会	妙高自然体験活動体験会 (キッズアドベンチャー)		
	深雪体験会	森のようちえん cafe in 妙高			



平成 29 年度 幼児キャンプ



平成 30 年度 MYOKO ボランティアキャンプ



令和元年度 MYOKO チャレンジ



令和 2 年度 トキ鉄で GO !



令和 3 年度 全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」

年度別教育事業一覧(平成3年度～平成23年度)

年度	事業名	期間
平成3年度	雪国生活体験倶楽部	12/25～12/28
	子どものスキー指導技術講習会	1/14～1/17
	全国少年団体指導者研修	2/4～2/6
	親子体験倶楽部(農園コース)	5～10月
	親子体験倶楽部(星座観察コース)	5～12月
平成4年度	集団宿泊指導者研修	6/4～6/6
	サマーコンサートin 妙高	8/2
	少年自然の家における生活科セミナー	10/29～10/30
	親子体験倶楽部(雪の妙高親子探検隊コース)	12～3月
	雪国生活体験倶楽部	12/25～12/28
	子どものスキー指導技術講習会	2/3～2/6
	親子体験倶楽部(農園コース)	5～9月
	集団宿泊指導者研修会	5/13～5/15
	少年自然の家における生活科体験セミナー	7/31～8/1
	世界子ども妙高のつどい	8/3～8/5
	親子体験倶楽部(星座観察コース)	9～11月
	MYOKO音楽祭	10/9～10/10
	東日本地区国立青少年教育施設職員研修	10/27～10/29
	親子体験倶楽部(雪の妙高親子探検隊)	12～3月
	子どものスキー指導技術講習会	2/2～2/5
	雪国生活体験倶楽部	3/26～3/30
	親子体験倶楽部(農園倶楽部)	5～10月
	集団宿泊指導者研修会	5/25～5/27
	塩の道に学ぶ	年3回
	世界子ども妙高のつどい	8/18～8/20
	親子体験倶楽部(星座観察倶楽部)	10～2月
	MYOKO音楽祭	10/1～10/2
	教師のための環境教育推進実践セミナー	10/27～10/29
	雪国生活体験倶楽部	12/25～12/28
	子どものスキー指導技術講習会	2/1～2/4
	妙高チャレンジ倶楽部	年5回
	子ども自然体験活動指導者講習会	5/23～5/25
	妙高・火打の自然を訪ねて	6/23～6/25
	世界子ども妙高のつどいロシアと日本の子どもを結ぶ	8/2～8/5
	塩の道に学ぶⅡ	9/8～9/10
	MYOKO音楽祭	9/30～10/1
	第24回全国少年自然の家運営研究会	10/17～10/19
	子どもの環境教育推進実践セミナー	10/31～11/2
	子どものスキー指導技術講習会	1/17～1/20
	中学生春休み科学実験倶楽部	3/23～3/26
	妙高チャレンジ倶楽部	年5回
	青少年教育施設研究協議会	5/21～5/22
	妙高の自然観察セミナー	7/5～7/7
	高校生ボランティア塾 in 妙高	8/1～8/5
	MYOKO音楽祭	9/28
	少年自然の家等職員研修会	12/2～12/4
	雪を遊ぶ in 妙高	12/25～12/28
	妙高豆博士のつどい「子ども科学実験教室」	3/25～3/28
	妙高・親子わくわくウォッチング	年4回
	青少年教育施設研究協議会	5/20～5/21
	妙高環境&科学発見セミナー	年4回
	妙高チャレンジ倶楽部	年5回
	妙高・キッズアドベンチャー	8/3～8/12
	高校生ボランティア塾 in 妙高	8/22～8/26
	MYOKO音楽祭	9/27
	手作り工作室	10/10～10/12
	青少年育成フォーラム	10/11
	少年自然の家等職員研修会	12/1～12/3
	雪上体験活動指導者講習会	12/25～12/28
	雪を遊ぶ in 妙高	3/25～3/28
	いきいき家族ふれあい愛キャンプ	年8回
	青少年教育施設研究協議会	5/21～5/22
	プロジェクトアドベンチャー指導者講習会	年2回
	妙高ふれあいスクール	通年
	妙高キッズアドベンチャーI「塩の道に学ぶⅢ」	7/31～8/7
	高校生ボランティア塾 in 妙高	8/17～8/21
	MYOKO光と風のフェスティバル	9/26～9/27
	自然体験活動担当教員講習会	10/21～10/23
	少年自然の家等職員研修会	12/2～12/4

年度	事業名	期間
平成10年度	雪上体験活動指導者講習会	12/25～12/27
	妙高キッズアドベンチャーII「雪を遊ぶ」	3/25～3/28
	集まれエンジョイ家族	年13回
	妙高自然の家ボランティア養成講習	年2回
	はつらつ体験塾	年2回
	プロジェクトアドベンチャー指導者講習会	6/4～6/6
	郷土発見探検隊	年3回
	妙高キッズアドベンチャー「信越道の旅・遊悠」	7/28～8/11
	社会教育研修講座	年2回
	野外教育企画担当者セミナー	9/14～9/17
	MYOKO光と風のフェスティバル	9/25～9/26
	国立青少年教育施設新専門職員フォローアップ研修会	11/1～11/5
	学社共同参画セミナー	11/10～11/12
	少年自然の家等職員研修会	12/1～12/3
	雪上体験活動指導者講習会	12/25～12/27
	スキー指導者養成講座	2/1～2/3
	雪国探検隊	2/11～2/13
	妙高少年自然の家ボランティア養成講習会	年2回
	自然体験活動担当者プログラム作成研修会	年4回
	プロジェクトアドベンチャー指導者講習会	年2回
	妙高キッズアドベンチャー「自分発見の旅」	年2回
	MYOKO光と風のフェスティバル	9/23～9/24
	野外教育企画担当者セミナー	9/26～9/29
	はつらつ体験塾	年2回
	自然の中で「総合」-「総合的な学習の時間」授業の実践	通年
	自然の中で「総合」-「総合的な学習の時間」実践講座	年3回
	少年自然の家等職員研修会	12/4～12/6
	スキー・雪上活動指導者養成講座	12/25～12/27
	妙高の自然に親しむ会	通年
	妙高少年自然の家ボランティア養成講習会	5/25～5/27
	教職員等プロジェクトアドベンチャー講習会	6/8～6/10
	自然の中で「総合」～総合的な学習の時間 研究開発編～	通年
	自然の中で「総合」～総合的な学習の時間 授業実践編～	通年
	自然の中で「総合」～総合的な学習の時間 普及編～	6/15～6/17
	長期キャンプボランティア養成講習会	6/22～6/24
	妙高キッズ・アドベンチャー	年2回
	プロジェクトアドベンチャーステップアップ講習会	年2回
	プロジェクトアドベンチャープログラム開発事業	通年
	はつらつジュニアリーダー研修会	8/24～8/26
	はつらつ体験塾	年2回
	妙高フレンドスクール～通学キャンプ～	11/24～12/1
	少年自然の家等職員研修会	12/5～12/7
	MYOKO光と風のフェスティバル	9/22～9/23
	妙高少年自然の家ボランティア養成講習会	5/17～5/19
	教職員等プロジェクトアドベンチャー講習会	6/7～6/9
	自然の中で「総合」～総合的な学習の時間 研究開発編～	通年
	自然の中で「総合」～総合的な学習の時間 授業実践編～	通年
	妙高キッズ・アドベンチャー	7/29～8/9
	プロジェクトアドベンチャーステップアップ講習会	8/23～8/25
	プロジェクトアドベンチャープログラム研究開発事業	通年
	はつらつジュニアリーダー研修会	8/23～8/24
	オープン・ザ・ドア	年3回
	妙高フレンドスクール～通学キャンプ～	11/16～11/23
	はつらつ体験塾	年2回
	少年自然の家等職員研修会	12/3～12/5
	MYOKO光と風のフェスティバル	9/21～9/22
	妙高の自然に親しむ会	年12回
	MYOKOプログラム体験会	4/26
	心の教育セミナー	7/11
	妙高ボランティア養成セミナー	5/31～6/1
	妙高アドベンチャープログラム(MA) ファシリテーショントレーニング	5/23～5/25
	オープン・ザ・ドア	年3回
	ジュニアリーダーサミット2003	8/20～8/22
	妙高アドベンチャープログラム(MA) ステップアップ講習会	9/13～9/15
	教員のための自然体験学習実践研修	9/26～9/27
	はつらつ体験塾	年2回
	親子ふれあいキャンプ(母子・父子家庭のキャンプ)	10/11～10/12
	妙高フレンドスクール～通学キャンプ～	11/16～11/23

年度	事業名	期間
	「雪」子どもアカデミー	3/25～3/29
	妙高アドベンチャープログラム(MA) 研究開発事業	随時
	自然の中で「総合」ワンダーアース～総合学習プログラム実践・開発セミナー～	年6回
	自然の中で「総合」ワンダーアース～妙高自然不思議探検隊～	通年
	MYOKO光と風のフェスティバル	9/20～9/21
	少年自然の家等職員研修会	12/3～12/5
	親子で体験! 妙高の四季まるかじり	年5回
	妙高ジュニアリーダースクール～きみは森の博士～	年4回
	MYOKOプログラム体験会	4/24
	心の教育セミナー～悩める親たちのためのサポートキャンプ～	年4回
	妙高ボランティア養成セミナー	5/21～5/23
	妙高アドベンチャープログラム(MA) ファシリテーショントレーニング	5/29～5/30
	妙高体験学習法指導者講習会	6/25～6/27
	オープン・ザ・ドア! ～太平洋から日本海へ～	年4回
	はつらつ体験塾	年2回
	妙高フレンドスクール～仲間と一緒に～	11/7～11/14
	ジュニアリーダーサミット2004	12/22～12/24
	自然の中で「総合」ワンダーアース～総合的な学習プログラム実践・開発セミナー～	年間5回
	自然の中で「総合」ワンダーアース～総合的な学習支援開発事業～	通年
	少年自然の家等職員研修会	12/1～12/3
	親子で体験! 妙高の四季まるかじり	年6回
	妙高キッズアカデミー～あなたは森の博士～	年5回
	MYOKO光と風のフェスティバル	9/25～9/26
	オープン・ザ・ドア! ～太平洋から日本海へ～	年4回
	心の教育セミナー	10/29～10/30
	東日本地区ボランティア資質向上研修 ～Step Up! 妙高～	9/9～9/11
	ボランティア養成研修「妙高ボランティア養成セミナー」	5/20～5/22
	豊かな体験活動ワークショップ～人間関係づくりと自然体験をキーワードに～	11/25～11/27
	妙高アドベンチャープログラムセミナー～妙高から学校へ～	6/24～6/26
	教員のための自然体験活動研修会～五感で感じ、子どもとともに学ぼう～	年8回
	少年教育等指導者研修会～子どもたちの豊かな自然体験活動充実のために～	11/30～12/2
	MYOKOプログラム体験会	年4回
	妙高フレンドキャンプ	11/13～11/20
	MYOKO光と風のフェスティバル	9/23～9/24
	はつらつ体験塾	年2回
	キャンプとお手伝いの旅～「やらせ」から「自立」へ	7/29～8/12
	MYOKO活動プログラム体験会「お試しプラン」	年8回
	人間関係づくり指導者養成セミナー～妙高体験学習法からのアプローチ～	6/2～6/4
	環境教育指導者養成セミナー～妙高体験学習法からのアプローチ～	年8回
	MYOKOボランティア養成所	年7回
	青少年教育指導者基本研修	10/18～10/20
	非日常の体験活動が子どもの大脳活動と「生きる力」に及ぼす影響に関する調査研究	通年
	妙高体験学習法の体系化と体験学習の質的向上に資する調査研究	通年
	通学キャンプ～中1キャンプなんか怖くない～	11/12～11/19
	MYOKOボランティア養成所	年4回
	「長期宿泊体験活動における「生きる力」向上プロジェクト」自然体験で使える教育手法講座～学習意欲を10倍高める方法～	6/22～6/23
	キャンプとお手伝いの旅～「やらせ」から「自立」へ～	7/28～8/12
	社会教育担当者の実践研修「青少年の感性を育てる活動を創ろう」～妙高のフィールドからあなたのフィールドへ～	10/16～10/18
	大学との連携事業「学社共同参画セミナーⅠ・Ⅱ」サマーキャンプ・ウィンターキャンプ	年2回
	「長期宿泊体験活動における「生きる力」向上プロジェクト」妙高フレンドキャンプ～友情・笑顔・自立の1週間～	9/23～9/29
	「長期宿泊体験活動における「生きる力」向上プロジェクト」学校行事推進フォーラム～長期宿泊体験(本物体験)を通して青少年の自立を育む～	10/13～10/14
	非日常の体験活動が子どもの大脳活動と「生きる力」に及ぼす影響に関する調査研究	通年

年度	事業名	期間
平成19年度	「長期宿泊体験活動における「生きる力」向上プロジェクト」長期宿泊体験活動における学校教育のカリキュラム開発とその有効性に関する調査研究	通年
	体験活動が青少年の意欲向上に与える影響に関する調査研究～5教育拠点実施の各年齢期における体験活動の在り方について～	通年
	【妙高「生きる力」向上プロジェクト】キャンプとお手伝いの旅～「やらせ」から「自立」へ～	8/2～8/10
	【妙高「生きる力」向上プロジェクト】心の冒険教育指導者養成講座	年2回
	【妙高「生きる力」向上プロジェクト】MYOKOボランティア養成所	5/16～5/17
	【妙高「生きる力」向上プロジェクト】学校長期自然体験活動指導者養成研修	年2回
	【妙高「生きる力」向上プロジェクト】大学との連携事業「学社共同参画セミナーⅠ・Ⅱ」～サマーキャンプ・ウィンターキャンプ	年2回
	【妙高「生きる力」向上プロジェクト】妙高遊々の森	通年
	【妙高「生きる力」向上プロジェクト】「妙高教育プログラム」普及事業	年3回
	【妙高「生きる力」向上プロジェクト】豊かな体験活動推進フォーラム～有機的な連携による長期宿泊体験活動の推進～	10/11～10/12
	【妙高「生きる力」向上プロジェクト】長期宿泊体験活動に対応した学校教育のカリキュラム開発と有効性に関する調査研究	通年
	【妙高「生きる力」向上プロジェクト】小学校自然体験活動モデルプログラム開発	通年
	【妙高「生きる力」向上プロジェクト】非日常の体験活動が子どもの大脳活動と「生きる力」に及ぼす影響に関する調査研究	通年
	体験活動が青少年の人間関係に与える影響に関する調査研究～5教育拠点の各年齢期における人間関係能力を高める教育プログラムの研究・開発～	通年
	MYOKOボランティア養成所	5/16～5/17
	心の冒険教育指導者養成研修	6/12～6/14
	妙高ネイチャープログラム指導者養成研修	7/3～7/5
	妙高ジュニアアドベンチャー2009	7/26～8/9
	教員免許状更新講習	年2回
	自然体験活動指導者養成研修	年4回
	環境教育指導者養成研修(東部ブロック)	10/20～10/23
	ミクロナシア青少年自然体験交流事業	6/26～6/29
	学社共同参画セミナー	年2回
	豊かな体験活動推進フォーラム	10/24～10/25
	妙高遊々の森	通年
	小学校自然体験活動モデルプログラム開発	通年
	少年期におけるリーダーシップの評価方法に関する調査研究	通年
	青少年の発達課題に応じた「生きる力」を育む体験活動の在り方とその効果の検証方法に関する調査研究	年4回
	妙高ジュニアアドベンチャー2010	7/25～8/8
	小学校長期自然体験活動指導者養成研修	年4回
	MYOKOボランティア養成所	7/10～7/11
	豊かな体験活動推進フォーラム	11/13～11/14
	学社共同参画セミナーⅠ・Ⅱ	年2回
	妙高プログラム体験会	年4回
	心の冒険教育指導者養成研修	年2回
	妙高ネイチャープログラム指導者養成研修	7/2～7/4
	ふるさと妙高とともに歩もうフェスティバル	10/2～10/3
	妙高ひまわりキャンプ	年2回
	少年期におけるリーダーシップの評価方法に関する調査研究	通年
	幼児期にふさわしい自然体験活動プログラムの開発～幼児が夢中になる自然体験活動プログラム～	通年
	MYOKO活動プログラム体験会	年4回
	心の冒険教育指導者養成研修 ①スキルアップ研修 ②心の冒険コースⅠ ③心の冒険コースⅡ	年3回
	MYOKOボランティア養成所	5/21～5/22
	妙高ネイチャープログラム指導者養成研修	7/1～7/3
	妙高ジュニアアドベンチャー2011	7/24～8/7
	学社共同参画セミナーⅠ・Ⅱ	年2回
	妙高ひまわりキャンプ	年4回
	はじめてのわんぱくキャンプ～めざせ、冒険王～	年3回
	小学校長期自然体験活動指導者養成研修	9/17～9/19
	大地の秘密探検隊「糸魚川ジオパーク」	9/23～9/25
	アセアン加盟国中学生招聘交流事業	10/2～10/11
	豊かな体験活動推進フォーラム	11/26～11/27
	課題を抱える青少年を対象とした体験活動の有効性に関する研究(中部北陸ブロック施設次長プロジェクト調査研究事業)	通年
	幼児期にふさわしい自然体験活動プログラムの開発	通年
	少年期におけるリーダーシップの評価方法に関する調査研究	通年

歴代運営委員等名簿

(運営委員会：H3年4月～H13年8月)

(施設業務運営委員会：H13年9月～H24年12月)

(運営協議会：H25年1月～現在)

氏名	役職	期間
新井 郁男	上越教育大学教授／副学長	H3～H12
飯田 稔	筑波大学教授	H3～H9
今井 通子	ル・ベルソー代表取締役	H3～H7
今井 晴也	新潟日報編集局長	H3～H4
梅山 郁雄	新潟県中学校長会会長	H3～H5
太田 美和	新潟県立六日町高等学校教諭	H3～H7
金井 助弘	新潟県子ども会連絡協議会会長	H3～H14
亀岡 重則	(社)中央青少年団体連絡協議会事務局長	H3～H5
木原 光知子	ケイアンドエムインターナショナル(株)代表	H3～H7
栗林 貞夫	新潟県小学校長会会長	H3～H5
坂西 輝雄	群馬県教育委員会教育長	H3
佐藤 隆	明治大学教授	H3～H7
佐藤 公臣	日本放送協会新潟放送局長	H3～H5
鹿野 重	ボーイスカウト新潟連盟理事長	H3～H7
早川 芳太郎	元鹿屋体育大学長	H3～H11
堀川 徹夫	新潟県教育委員会教育長	H3
水野 法隆	妙高村長	H3～H6
宮崎 和順	長野県教育委員会教育長	H3～H5
唐澤 太市	群馬県教育委員会教育長	H4～H7
小板橋 延弘	環境庁自然保護区中部山岳国立公園管理事務局長	H4～H5
本間 栄三郎	新潟県教育委員会教育長	H4～H6
川上 肇	日本放送協会新潟放送局長	H5～H7
清田 一夫	(社)中央青少年団体連絡協議会事務局長	H5～H7
佐藤 善處	長野県教育委員会教育長	H5～H7
鈴木 清治	新潟日報編集局長	H5～H8
波多 雄一	新潟県中学校長会会長	H5～H6
保坂 圭介	新潟県小学校長会会長	H5～H6
C.W.ニコル	作家・ナチュラリスト	H6～H11
宮澤 英雄	妙高村長	H6～H11
渡辺 浩	環境庁自然保護局中部地区国立公園・野生生物事務局長	H6～H7
小野 洋三	日本放送協会新潟放送局長	H7～H9
平野 清明	新潟県教育委員会教育長	H7～H9
水澤 潔	新潟県小学校長会会長	H7～H9
水野 文俊	新潟県中学校長会会長	H7～H9
阿部 桂子	ガールスカウト日本連盟新潟県支部副支部長	H8～H12
稲垣 美穂子	俳優 青少年の心を育てる会理事	H8～H9
國松 治男	元国立教育会館社会教育研修所所長	H8～H11

氏名	役職	期間
関根 正喜	群馬県教育委員会教育長	H8～H11
高井 進	陶芸家	H8～H12
田中 眞弓	新潟県小中学校PTA連合会副会長	H8～H9
中村 好成	千葉県教育委員会教育長	H8～H12
林 利八	新潟大学教育学部教授	H8～H9
松崎 誠司郎	環境庁自然保護局中部地区国立公園・野生生物事務局長	H8～H9
後藤 亮一	新潟県小学校長会会長	H9～H11
近藤 俊明	新潟県中学校長会会長	H9～H11
佐久間 宏	日本放送協会新潟放送局長	H9～H12
田部 和博	環境庁自然保護局中部地区国立公園・野生生物事務局長	H9～H11
星野 元	新潟日報編集局長	H9～H11
松野 義之	新潟県小中学校PTA連合会副会長	H9～H10
大橋 正春	新潟大学教育人間科学部教授	H10～H12
菅原 廣一	国立特殊教育総合研究所聴覚・言語障害教育研究部長	H10～H11
杉 みき子	児童文学作家	H10～H12
沼波 吉孝	新潟県小中学校PTA連合会副会長	H10～H11
野本 憲雄	新潟県教育委員会教育長	H10～H12
上野 洋一	新潟県小中学校PTA連合会副会長	H11～H12
加藤 淳一	新潟県中学校長会会長	H11
広野 孝男	環境庁自然保護局中部地区自然保護事務局長	H11～H12
山田 穂	新潟県小学校長会会長	H11～H12
織立 信明	妙高村長	H12～H16
比後 和泉	新潟県小中学校PTA連合会会長	H12～H14
川室 優	新潟県精神保健福祉協会上越支部長	H12
小林 實	新潟県中学校長会会長	H12
高井 健二	群馬県教育委員会教育長	H12～H15
高橋 信雄	高助合名会社社長	H12
高橋 道映	新潟日報取締役編集局長	H12～H16
チャールズ・ストラットン	大島クリエートくびき野創造教育研究所長チーフディレクター	H12
難波 克己	(株)プロジェクトアドベンチャージャパン取締役・チーフトレーナー	H12～H21
村山 慎一	日本放送協会新潟放送局長	H12～H16
板屋越 麟一	新潟県教育委員会教育長	H13～H15
宇治 睦郎	上越市立教育センター教育相談部長	H13～H17
小島 紀男	新井市立新井中学校長	H13～H15
嶋田 洋徳	新潟大学人文学部助教授	H13～H15
清水 新次	千葉県教育委員会教育長	H13～H15
大悟法 滋	上越教育大学教育学部教授	H13～H17
田上 順一	妙高市立関山小学校長	H13
田中 裕幸	(有)アウトドア・エデュケーションセンター代表取締役	H13～H16

氏名	役職	期間
百目鬼 弘通	妙高高原町国体準備室指導主事	H13～H15
濁川 明男	里山保全クラブ顧問	H13～
平野 吉直	信州大学理事・副学長	H13～
松田 正實	新潟県中学校長会会長	H13～H14
山岸 宏	新潟県小学校長会会長	H13～H14
鶴巻 光臣	妙高村立関山小学校長	H14～H17
野口 徳栄	新潟県子ども会連絡協議会会長	H14～H15
萬歳 健一	新潟県小中学校PTA連合会会長	H14
野澤 慎吾	新潟県小中学校PTA連合会会長	H15～H16
林 尚彦	新潟県中学校長会会長	H15
樋浦 晃治	新潟県小学校長会会長	H15
池田 和子	新井リゾート開発(株)ゲストリレーション部PSIA障害者スキーインストラクター	H16
池田 定充	新潟県中学校長会会長	H16～H17
大橋 昭喜	日本放送協会新潟放送局長	H16～H17
坂本 昭裕	筑波大学人間総合科学研究科教授	H16～
杉山 百合子	上越市教育委員会委員	H16
関谷 昇	わくわくランドあらい施設長	H16～H17
藤原 満喜子	介護老人保健施設「はねうまの里」施設長	H16～H17
武士俣 昭司	新潟県子ども会連絡協議会会長	H16～H17 H22～
丸田 勲	新潟県小学校長会会長	H16～H17
三浦 百合子	新潟県教育庁生涯学習推進課長	H16～H17
小菅 江美	NPO法人緑とくらしの学校理事	H17
直原 寿枝	上越市教育委員会委員	H16～H17
竹内 希六	新潟日報取締役編集局長	H17～H19
永井 将史	国際自然環境アウトドア専門学校自然環境学科主任／副校長	H17 H22～H24
中野 敏明	新潟県中学校長会幹事	H17
入村 明	妙高市長	H17～H24
橋詰 敏一	新潟県小中学校PTA連合会副会長	H17
池田 弘	アルビレックス新潟代表取締役会長	H18
江尻 直樹	日本放送協会新潟放送局長	H18～H19
大島 誠	(株)上越タイムス代表取締役社長	H18～H21
笹川 恵美子	新潟県小学校長会理事	H18～H19
篠原 菊紀	諏訪東京理科大学教授	H18～H21
福田 伊治	新潟県中学校長会理事	H18
飯平 喜文	新潟県教育庁生涯学習推進課長	H18～H20
横山 邦夫	新潟県高等学校長協会	H18～H19
吉原 久美子	糸魚川幼稚園副園長	H18～H21
笠原 文臣	新潟県中学校長会理事	H18～H21
高野 孝子	特定非営利法人ECOPLUS代表理事	H19～H21
伊藤 みさこ	新潟県小学校長会理事	H20～H21

氏名	役職	期間
小田 希六	新潟日報取締役編集局長	H20
小田 敏三	新潟日報取締役編集局長	H20～H21
小塚 敬志	新潟県高等学校長協会	H20～H21
戸北 凱惟	上越教育大学理事・副学長	H20～H21
桑原 光矢	新潟県教育庁生涯学習推進課長	H21～H22
秋山 三枝子	くびき野NPOサポートセンター理事長	H22～H24
大矢 かおる	山里自然学校ねぎぼうず代表	H22～H24
時安 和行	至学館大学准教授	H22～H24
中島 憲一	妙高市立妙高小学校長	H22
橋本 定男	上越教育大学准教授	H22～H23
宮田 友子	妙高市教育委員会子ども教育課指導主事	H22～H24
陸川 晃	妙高市立妙高中学校長	H22～H24
渡辺 英美子	新潟日報上越支社長	H22～H25
丸山 治夫	妙高市立妙高小学校長	H23～H24
三林 康弘	新潟県教育庁生涯学習推進課長	H23～H24
石塚 忠男	全国特別活動研究会顧問	H24
石野 正彦	上越教育大学教授	H25～R2
坪川 充	新潟県教育庁生涯学習推進課長	H25～H27
中野 充	ボーイスカウト日本連盟評議員(新潟青陵大学准教授)	H25～
藤井 清比古	上越市中郷区青少年育成会議代表	H25～H30
山井 太	(株)スノーピーク代表取締役会長	H25～
後藤 求	関山生産森林組合顧問	H26～
館野 智光	妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会事務局長	H26～
野崎 孝則	新潟日報上越支社長	H26～H27
保坂 尚忠	妙高市農林課農山村振興係主査	H26～H30
夏井 陽三	新潟日報上越支社長	H27～H29
加茂 辰也	新潟県教育庁生涯学習推進課長	H28～H29
長野 康之	国際自然環境アウトドア専門学校環境保全学科主任	H29～H30
信田 直樹	新潟県教育庁生涯学習推進課長	H30～R元
木村 隆	新潟日報上越支社長	H30～R元
小山 敏行	国際自然環境アウトドア専門学校副校長	R元～
澤田 賢一	環境省妙高高原地区パークボランティアの会副会長	R元～
安本 祥也	妙高市農林課農山村振興係主事	R元
小林 智	新潟県教育庁生涯学習推進課長	R2～
齋藤 祐介	新潟日報上越支社長	R2～
笹川 良太	妙高市農林課農山村振興係主事	R2
松橋 守	妙高市教育委員会こども教育課長	R3～
渡辺 径子	上越教育大学准教授	R3～

歴代職員名簿

所長	五十川 隆夫	坂本 登	永田 敏	相場 宏	齋藤 信一郎
	宮川 八岐	川野 由美子	三上 智	川崎 幸一	長町 一郎
	栗原 靖	伊野 亘	星野 浩一	小林 朋広	

次長	湯浅 昭司	國府 修治	桑山 宗大	森原 強史	室井 修一
----	-------	-------	-------	-------	-------

※課長制は平成21年9月まで、平成21年10月からは次長制

事業課長	角張 修	相羽 信良	竹田 一夫	吉越 勉	伊野 亘
	湯浅 昭司				

※事業課長 → 事業推進課長(平成18年度より)

庶務課長	嶋田 武司	多田 暁	鈴木 由喜男	眞島 豊	草間 忠明
	渡辺 明弘	平野 秀秋			

※庶務課長→事業企画課長(平成16年度より)→事業支援課長(平成18年度より)

参事	國府 修治
----	-------

主幹	河野 健一	友松 由実 (兼次長心得)
----	-------	------------------

専門職員 ↓ 企画指導専門職 (平成18年度より)	○小野里 清治	○村上 学	○金子 博信	○小池 務	○新村 勇一
	○伊野 亘	○半田 義彦	○狩野 正樹	○大木 博一	○細矢 武男
	○百目鬼 弘通	○新島 邦彦	○冨塚 誠	○橋本 晃	○河野 健一
	○葉山 憲一	○二瓶 昭夫	○高瀬 裕	○水澤 勝宏	○米村 貴
	○田原 朋子	○市川 哲	○福上 英彦	○鹿島 真由美	
	勝間 修二	佐藤 照明	金井 秀樹	坂井 宏治	山口 明
	松村 純子	田村 豊	勝俣 将明	阿部 一之	伊藤 健文
	浅山 景	脇川 幸治	水澤 哲	小野 俊巳	室井 修一
	近藤 和久	桑山 宗大	岩田 一紀	宇佐美 崇	加藤 貴子
	村松 研一	反町 悟	瀧 直也 (準専門職員)	及川 未希生 (企画指導専門職員付)	蟹江 真耶 (企画指導専門職員付)

業務係 ↓ 事業サービス係 (平成16年度より) ↓ 事業推進係 (平成18年度より)	○野崎 薫	○草間 忠明	○佐藤 誠一	○高島 純一	○瀧本 一幸
	○渡邊 茂康	○伊藤 孝之	○桐山 敦史	○浅岡 芳郎	○南雲 晋
	○松木 光永	○橋本 彰	○安原 覚	○志賀 和孝	
	中嶋 仁	大津 輝幸	三田村 貴弘	内田 剛	馬場 光雄
	浅山 景	室井 修一	大瀬 孝志	大野 隆司	水澤 哲
	岸本 政和	友松 由実	中川 知己	岩田 一紀	竹内 政仁
	後藤 浩子	本田 吉栄	太田 耕治	高橋 智裕	青山 博之
	望月 修	藤本 光雄	秋山 洋	村椿 和之	藤田 健仁
	五十嵐 雅信	島田 一馬	瀧 直也	星野 雄軌	東 千香子
	町田 涼太	池田 果穂			

事業推進専門職 (平成23年度より)	室井 修一	岸本 政和	外立 努	竹内 政仁	齋藤 晃
	土田 善寛	柏川 敦史			

庶務係 ↓ 企画調整係 (平成16年度より) ↓ 総務係 (平成18年度より)	○中野 修美	○伊藤 斎	○西川 岩雄	○岡崎 明弘	○瀧本 一幸
	○水野 栄二	○伊藤 孝之	○山口 信幸	○細野 学	○岩井 洋
	○島田 一馬	○高松 宏幸	○高波 聡美	○志賀 和孝	○馬場 光雄
	外山 茂夫	小島 清市	渡邊 茂康	水野 栄二	藍木 順二
	木村 康司				
	内田 剛	丸山 克彦	小島 清市	望月 修	大貫 健治
	木浦 正志	後藤 浩子	齋藤 繁	風間 健一	山田 佳寛
	草間 祐太	柳田 龍一郎			

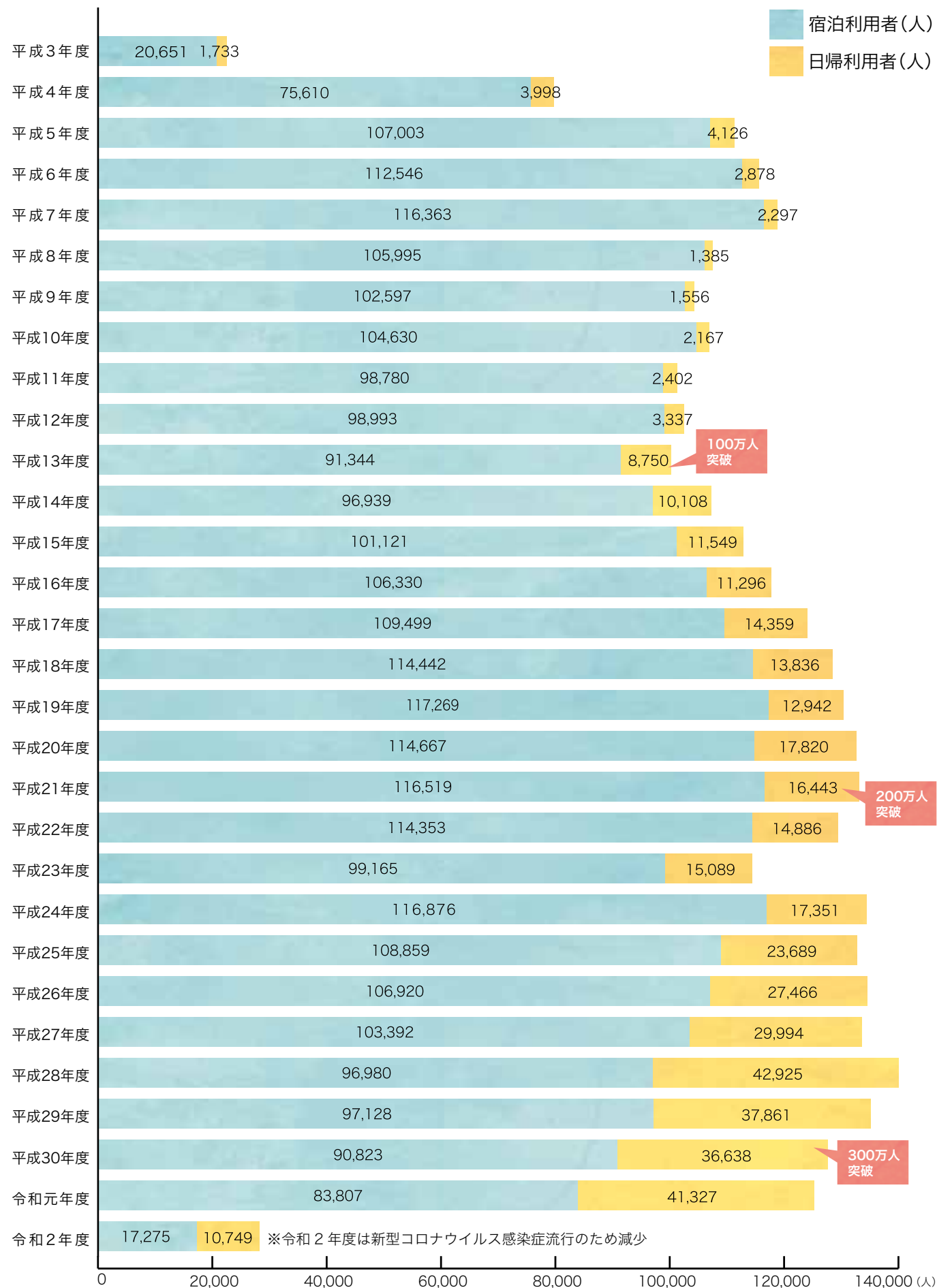
会計係 ↓ 活動支援係 (平成16年度より) ↓ 管理係 (平成18年度より)	○田上 隆	○高橋 輝昭	○小山 公一	○本田 政博	○長谷川 英美
	○大谷 正榮	○池田 彰	○秋山 洋	○南雲 晋	○安田 大信
	○高松 宏幸	○村椿 和之	○赤井 一繁		
	池田 謙哉	家崎 利正	細野 学	高橋 信寿	東 千香子
	松崎 良一	岩澤 秀輝	竹内 真一	後藤 涉	志賀 和孝
	木村 康司	飯吉 香代子	町田 涼太	松本 真也	

非常勤職員 (学生サポーター含む) ※50音順	相浦 優子	相浦 礼子	朝比奈 茜	朝比奈 ミネ子	足立 一樹
	阿部 知子	飯吉 光子	飯吉 陽子	池田 諒子	石黒 健也
	市ノ澤 美羽	伊藤 潤	猪浦 拓也	今井 一昭	今井 沙織
	内記 麻衣子	内田 今朝美	内田 千久美	内田 百合子	漆間 博
	大久保 ウメ子	大久保 裕美	岡田 幸子	岡田 芳人	岡本 哲彦
	加藤 清香	加藤 美佐子	金子 輝美	蟹江 真耶	川上 わか子
	川口 早織	木賀 総次	木賀 朋美	桐山 伊織	桐山 敦子
	黒岩 茂夫	小嶋 武	小島 正子	斉木 セイ子	桜井 春香
	笹川 源吾	笹川 多鶴子	笹川 光男	笹川 美代子	佐藤 喜男
	佐藤 吉一	島崎 晋亮	清水 綾	清水 一子	霜鳥 知美
	関 博志	高橋 朋子	高橋 尚子	高橋 佳子	瀧澤 浪治
	田中 恒	田村 絵美	戸田 一弘	豊岡 佳苗	富坂 優子
	中嶋 美智子	仲條 夕紀	永田 旭	中村 由佳	西澤 将大
	野澤 常雄	野村 しのぶ	畑山 美奈子	服部 洋平	古川 大樹
	間島 より子	町田 涼太	松崎 和輝	丸山 敬	水野 敏明
	宮越 美幸	宮下 敏彦	宮本 時絵	望月 こずえ	望月 寛子
	森田 康博	八木 知美	八十島 恵美子	山崎 和美	山崎 辰雄
	山崎 光夫	山田 正敏	横尾 純子	吉田 昇	吉田 理史
	葭谷内 名緒	若槻 朱美	渡邊 大作		

現職員	小林 朋広 (所長)	室井 修一 (次長)	友松 由実 (主幹兼次長心得)	○鹿島 真由美	村松 研一
	反町 悟	蟹江 真耶	○志賀 和孝	土田 善寛	柏川 敦史
	池田 果穂	○馬場 光雄	柳田 龍一郎	○赤井 一繁	飯吉 香代子
	松本 真也	丸山 敬	岡田 芳人	飯吉 陽子	桜井 春香
	戸田 一弘	森田 康博			

○印は 主任専門職員・主任企画指導専門職・係長経験者
在職当時の氏名を記載

開所以来の宿泊・日帰り利用者数の推移



30周年を迎えるにあたりご寄附をいただいた皆様

30周年を迎えるにあたり令和元年度から令和3年度の間にはたくさんのご寄附をありがとうございました。今後の事業活動及び維持管理に活用させていただきます。
※お名前の公表を承諾された方のみ掲載しております。

企業等からの寄附 (50音順 <敬称略>)

有限会社アイビーオート	朝日酒造株式会社	一般社団法人 アトリエ 村山 陽
有限会社イシノ	株式会社伊藤園上越営業所	伊那美装株式会社
ウチダスポーツ	株式会社内山ホーム	株式会社エース電子
えちご上越農協関山支店	えちごトキめき鉄道株式会社	岡本石油
株式会社雲田商会	株式会社グローバルアセットモーションズ	頸南バス株式会社
株式会社謙信堂	高坂防災株式会社	公孫上越地区生涯学習研究協議会
コーエイ株式会社妙高営業所	コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社VM新潟支店	
国際自然環境アウトドア専門学校	有限会社小島スポーツ	小山株式会社新潟営業所
有限会社シロキヤ	新星建機工業株式会社	新東産業株式会社上越支店
株式会社スノーピーク	株式会社スワローズスキー	関山郵便局
ゼビオスポーツ上越店	セブンイレブン妙高関山店	株式会社第一印刷所上越支店
株式会社高館組	有限会社中央モータース	株式会社桐朋
永田印刷株式会社	新潟県学校スキー研究会	新潟サンリン株式会社
新潟みらい建設株式会社上越営業所	株式会社西脇電気商会	株式会社ニッコトラスト
日本曹達株式会社二本木工場	株式会社パーツプロダクション	株式会社白星社
株式会社橋詰商会	株式会社浜田材木店	原通郵便局
株式会社深松組上越営業所	株式会社藤田建設	株式会社丸山酒造場
妙高カントリークラブ	妙高建設株式会社	妙高市校長会
妙高小学校	株式会社 mont-bell	有限会社安田商会
有限会社山田損保事務所	株式会社横瀬オーディオ	ろうきん新井支店
株式会社渡辺リネン		

OB等個人からの寄附 (50音順 <敬称略>)

相羽 信良	浅山 景	五十川 隆夫	市川 哲	伊野 亘
大久保 裕美	勝俣 将明	加藤 貴子	金井 秀樹	金子 博信
川上 わか子	木村 拓也	木村 康司	桑山 宗大	小池 務
後藤 涉	佐藤 喜男	外山 茂夫	田上 隆	竹田 一夫
佐藤 朋子	新村 勇一	二瓶 昭夫	半田 義彦	東 千香子
細矢 武男	本田 吉栄	本田 亮	松木 光永	松村 純子
水野 敏明	三田村 貴弘	宮川 八岐	安田 大信	安原 覚
吉越 勉	米村 貴	脇川 幸治	渡辺 明弘	(他10名)

活動マップ

夏季野外活動

冬季野外活動

